

反転授業—効果について考える—

日本語教育学会教師研修では、2014年度には反転授業の概要をつかむ研修を、2015年度には実践の具体的な方法や内容を考える研修を企画してきました。最終年度となる2016年度は、反転授業の効果に着目し、参加者のみなさまと共に考えていきたいと思っています※。各々の教育現場で目指す反転授業の内容を見極め、その効果測定に関する知識を深めて実践の改善のポイントを見つけることを目指します。

※2014年、2015年の反転授業関連の研修参加は必須ではありません。

日時: 2016年10月22日(土)13時～17時

会場: 早稲田大学早稲田キャンパス(教室詳細は受講者のみに連絡)

講師: 森朋子氏(関西大学教育推進部准教授)

コーディネーター: 倉本文子・高橋薫・保坂敏子(教師研修委員)

対象: 日本語教育に携わり、反転授業を実施している方。または実施予定の方。

定員: 40名(先着順)

内容: 予定のため変更することがあります。

- | | |
|-------------|------------------------------------|
| 13:00-13:10 | 会場・趣旨の説明・講師紹介 |
| 13:10-14:35 | 森朋子氏ご講演 |
| 14:35-15:05 | 話題提供①藤本かおる氏(武蔵野大学)②倉本文子(カイ日本語スクール) |
| 15:05-15:35 | 参加者によるグループワーク |
| 15:35-15:50 | 休憩(話題提供者によるデモを実施) |
| 15:50-16:30 | パネルディスカッション |
| 16:30-16:45 | 森朋子氏クロージングレクチャー |
| 16:45-17:00 | アンケート・次回予告 |

受講料: 一般 3,000 円, 日本語教育学会会員 2,000 円

参考文献: 森朋子(2015)「アクティブラーニングを深める反転授業」『アクティブラーニングの技法・授業デザイン』安永悟, 関田一彦, 水野正朗(編), 東信堂

10月10日
締切

◆申込方法◆

参加申込書は次ページにあります。メール添付または FAX でお送りください。記入用にワードファイルが必要な方は下記までお問合せください。メール応募の場合、題名は「10月22日反転授業申込」としてください。申込書が到着次第、折り返しメールで受講料の振込先等をご連絡します。締切は、10月10日(月)、定員になり次第、締切前でも募集を終了します。

◆注意事項◆

申込書を送っても学会からの返信メールが到着しない場合は書類未着の可能性がございますので、必ずご自身の責任においてご確認ください。事務局対応は平日の9時～18時です。週末や夜間の対応は翌日以降となります。なお、本募集に関して集めた個人情報は本研修の実施以外の目的には使用いたしません。応募書類は返却しません。

◆申込および問合せ先◆

公益社団法人 日本語教育学会
教師研修委員会事務局

E-mail: kyoshikenshu@nkg.or.jp

TEL: 03-3262-4291

FAX: 03-5216-7552

〒101-0065 東京都千代田区

西神田 2-4-1 東方学会新館 2F

～講師からのメッセージ～ 森朋子氏(関西大学教育推進部准教授)



反転授業は、ICT教育やブレンド型学習と結びついて近未来的な授業デザインだと思われがちですが、まさに現場の教師が、目の前にいる学習者の学びの格差を埋めるために試行錯誤しながら作り上げてきた授業デザインです。草の根で広まってきた理由はそこにあり、私たちの日常にまさに寄り添った形ともいえます。「教える」と「学ぶ」の相互関係を考えながら、

みなさまとその可能性について一緒に考えていきたいと思っています。

<講師プロフィール>

大学生の学びのプロセスや構造の解明を試み、学習理論と実践の往還を行う実践的研究を専門としている。研究での知見を活かし、大学教育の改革を推進している。現在、関西大学教育推進部准教授。主著として『初年次教育の現状と未来』(共著・世界思想社)、『学生と楽しむ大学教育』(共著・ナカニシヤ出版)がある。

